



NO. 193

2009. 7. 15.

社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会

(別名 大阪市手をつなぐ親の会)

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

大阪市天王寺区東高津町 12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06 (6765) 5621 FAX 06 (6765) 5623

大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合
十周年記念 エル・チャレンジセミナー報告

理事長 笹野井 庸夫

去る平成二十二年六月十五日、大阪府福祉人権推進センター(ヒューマインド)において、エル・チャレンジ設立十周年を記念したセミナーが開催されました。当日は仕事を終えたばかりの就労訓練生や就職されている元訓練生、

ありました。

ご自身で、障害者にとって

本当に必要なものとは何なのか、それを是非とも見つけたいという強い意思のもと、

コロナー雲仙という活動拠点

を立ち上げられました。その

中で、世の中の動向や行政・

制度の変遷を見据えながら、

あるべき道筋を探ってきました。

その根本にあるのは、様々な

障害をもった人が自分らしい

生活を送るにはどうあるべき

かという視点です。そのなか

で「働くことが、自ら主体的

に生きる上でとても大切であ

る」と常に心にとどめながら

歩んでこられたことが強く

感じられました。

記念講演に続き、エル・チャ

レンジ十周年記念映像が上映

されました。設立からこれ

までのあゆみを、お集まりの

二部形式で行なわれた同セミナーですが、第一部でまず、社会福祉法人南高愛隣会理事長の田島良昭氏より「楽しく働き、いきいきと暮らす」というタイトルでの記念講演が

多くの関係者それぞれ感慨深くご覧になっていたことと思えます。この映像は今後再編集の上、「エルチャレ協奏曲」という題でDVD化される予定です。

その後、エル・チャレンジ理事長の富田一幸氏より「エル・チャレンジのこれまでとこれから」と題した講演があり、十年間の活動報告と今後の展望を語っておられます。

遅々として進まない障害者雇用についてエル・チャレンジを通じて世に問おうと思立った。それは、社会の中こそが居場所なのであり、すなわち市場そのものが授産であるという「施設なき授産」を理念に掲げました。それを具体化する上で「共益団体」としての事業協同組合という方法を探りあてました。こうして市場と福祉との共益を目指し、社会福祉法人と株式会社による日本初の障害者就労支援のための事業協同組合、エル・

チャレンジが生まれたのです。エル・チャレンジが発展していく中で、その活動を支えたのが大阪府のプロジェクト「行政の福祉化」です。これによって公共施設の清掃業務が、障害者の就業訓練の場所として活用されることとなったのです。そして現在清掃現場について総合評価制度が導入されました。これは入札にあたり公共性も評価の対象になるということです。

富田理事長はこれからのエル・チャレンジとしては、こうした新たな多数雇用事業体を、今後さらに法制度や支援方法の両面から発展させたいと考えておられます。それだけではなく、大阪府工賃倍増計画に参画することで、エル・チャレンジに來れない仲間もともに市場の扉を開いていく。また「大阪刑余者支援ネットワーク」や、七月にスタートしたばかりの「大阪障がい者就労・就業サポート協働